

Windowsの 準備1

どこが変わった？ Windows 10新機能ガイド

Windows 10は、2015年夏にリリースされた最新のOS（オペレーティングシステム）です。Windows 8で廃止されていたスタートメニューが復活したり、新しいウェブブラウザが標準で用意されたりと、Windows 8.1より

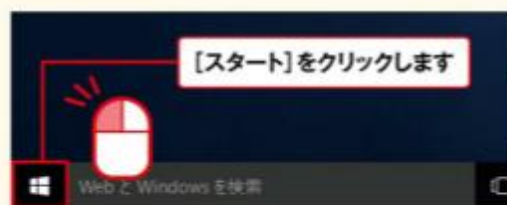
りも大幅に使い勝手がよくなっています。

ここではWindows 10の、7つの新機能の概要について解説します。それぞれの具体的な利用方法は、第1章以降で説明しています。

その1 ▶▶ スタートメニューが復活！

18ページへ

Windows 10は、デスクトップをメインにしたOS（オペレーティングシステム）です。Windows 8や8.1ではなくなっていたスタートメニューが復活し、アプリの起動や電源オフなどの操作がスタートメニューからできるようになりました。



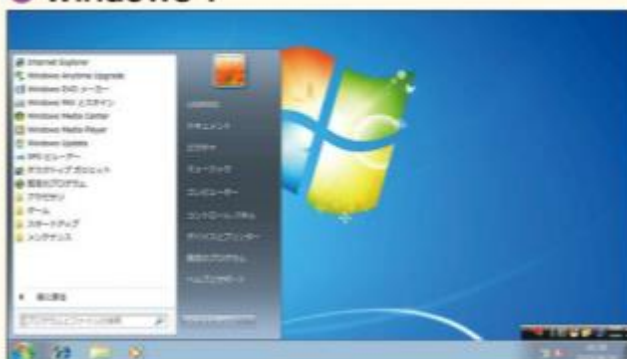
過去のWindowsを振り返ってみよう

● Windows 8.1



スタートメニューはなくなり、スタート画面とデスクトップ画面それぞれの画面ごとにアプリがあるため、2つの画面を切り替えて使いました。

● Windows 7



デスクトップ中心の構造で、左下のボタンからスタートメニューを表示していました。今回のWindows 10では、このスタートメニューがより使いやすくなって復活しています。

その 2 新ブラウザ「Edge」が登場！

30 ページへ

Windows 10 では、「Microsoft Edge」という新ウェブブラウザが標準で搭載されています。テキストだけを集中して読む、ウェブに手書きでメモするといった機能が実装され、これまでの Internet Explorer よりも実用的に改良されています。



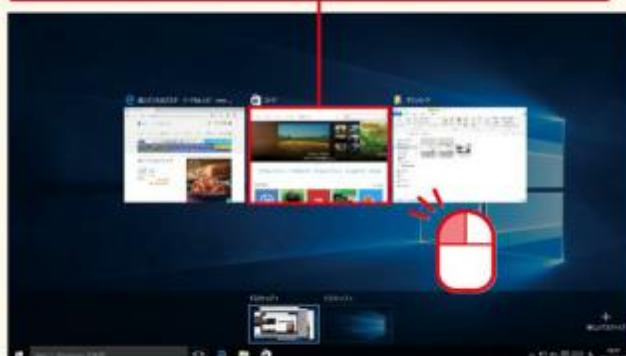
その 3 タスクビューで 楽々アプリを切り替え

25 ページへ

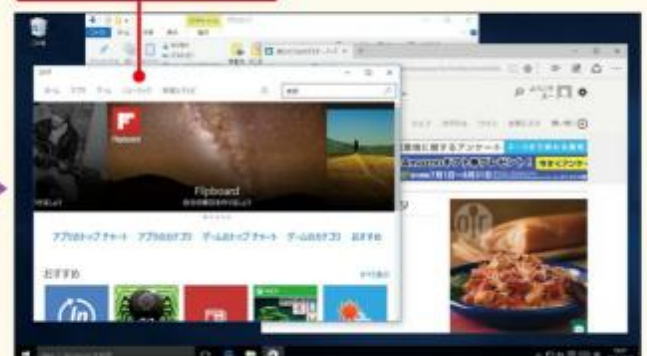
新機能の「タスクビュー」で、起動中のアプリを楽に切り替えられるようになりました。タスクバーにある「タスクビュー」をクリックすると、起動中のアプリが一覧で表示されます。サムネイルをクリックすれば、デスクトップに選択したアプリが表示されて操作を再開できます。



2 起動中の表示したいアプリのサムネイルをクリックします



3 アプリが表示されます



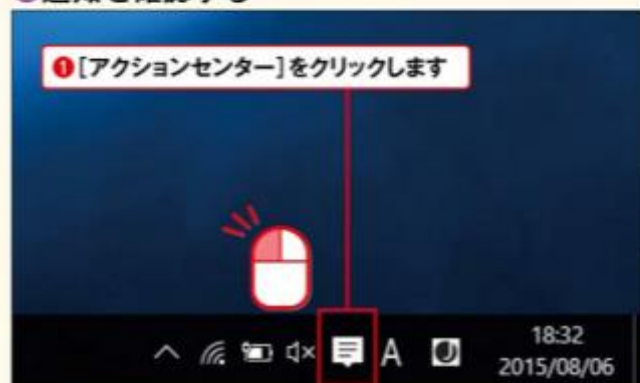
⇒ 次のページに続く

その4 通知をまとめて確認する アクションセンター

26 ページへ

Windows 10 ではさまざまなお知らせが「アクションセンター」という1つの画面に集約されています。デスクトップ右下のアイコンをクリックするだけで表示でき、重要な通知を見逃すことがありません。

●通知を確認する

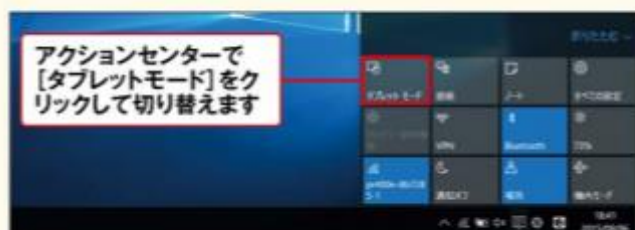


その5 タブレットモード でタッチ操作にもバッチリ対応

87 ページへ

タッチパネルを搭載したパソコンなら、Windows 10 はマウス操作とタッチ操作の両方で操作できます。アイコンが小さかったりして、指で操作しづらい場合はタブレットモードに切り替えるとよいでしょう。アプリのタイルなどが拡大され、タッチ操作がより簡単になります。

●タブレットモードと通常モードの違い



タブレットモード
ON!

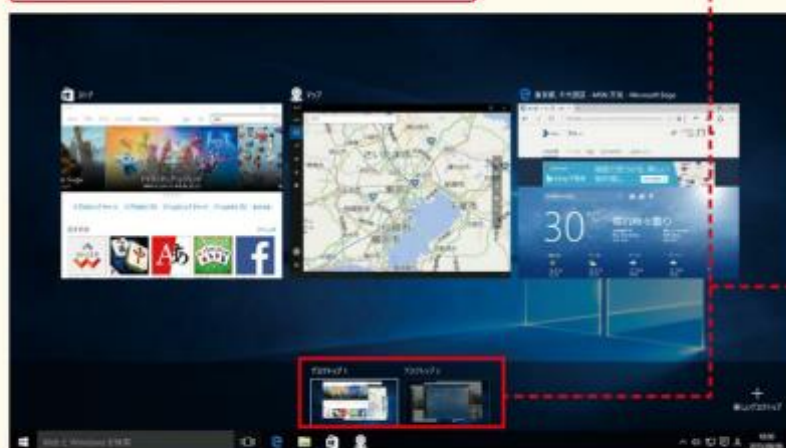


その6 デスクトップが何枚も用意できる！

88ページへ

Windows 10 では、1つの画面で複数のデスクトップを使い分けられる「仮想デスクトップ」機能が追加されました。仕事用のデスクトップ、プライベート用のデスクトップのように使い分けすることで、各デスクトップで表示するウィンドウの数が少なくなるため、アプリの切り替え操作がしやすくなります。

作成したデスクトップは、タスクビューの画面下部に表示されます



● デスクトップ 1



● デスクトップ 2



その7 リニューアルした設定画面でカスタマイズを行おう！

86ページへ

Windows 10 では、[設定] 画面のデザインも大幅にリニューアルされました。さまざまな設定が1つの画面にまとめられ、スタートメニューから簡単に表示できます。アカウントの追加や

Windows Update の設定、通知のオン/オフを切り替えたり、デスクトップの背景を変更したりしたいときに、利用するとよいでしょう。

● 新しい [設定] 画面



● これまでのコントロールパネル



Windowsの 準備2

マウスとタッチ操作の基本

タッチパネルを搭載したパソコンでは、タッチ操作とマウス操作、それぞれで作業を行うことができます。マウスを動かして操作するマウス操作と同様、タッチ操作では、指の動かし方でマウス操作と同様の操作をすること

ができます。マウス操作ではファイルやウィンドウなどの細かな操作や移動が行いやすく、正確な操作が可能です。タッチ操作は指で画面を拡大／縮小したり、タップしたアプリが起動したりと直感的な操作が可能です。

マウス操作

マウス操作には、クリック、ダブルクリック、右クリック、ドラッグの4つの操作があります。それぞれの操作により、実行される内容が異なります。本誌では、マウス操作を前提に操作を解説しています。

●クリック



「クリック」は、マウスの左ボタンを軽く「カチッ」と1回押して離す動作です。アプリを起動したり、項目を選択したりするときに行います。

●右クリック



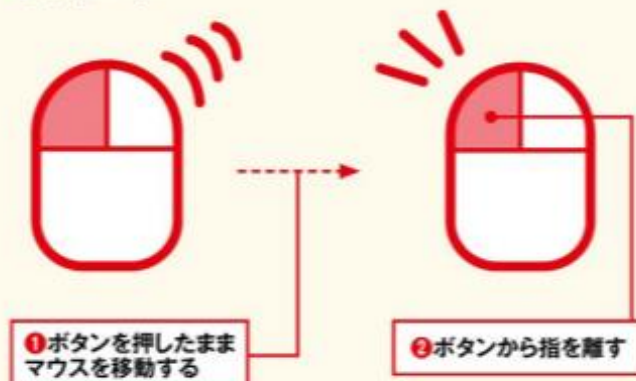
「右クリック」はマウスの右ボタンを1回押す動作です。マウスがポイントしているところに関連するメニューが表示されます。メニューは、使用しているアプリによって内容が異なります。

●ダブルクリック



「ダブルクリック」は、マウスの左ボタンをすばやく「カチカチッ」と2回連続で押す動作です。ファイルやフォルダーを開くときなどに行います。

●ドラッグ



「ドラッグ」は、マウスの左ボタンを押しながらマウスを移動する動作です。ウィンドウのサイズ変更やウィンドウやアイコンを移動するときなどに行います。

タッチ操作

タッチ操作では、マウスでのクリック、右クリック、ドラッグなどの操作を指を使って行います。タッチ操作には、タップ、長押し、スワイプ、ピンチ、ストレッチなどがあります。ピンチやストレッチは、親指と人差し指の2本を使います。

●タップ



「タップ」は、タッチパネルを軽く1回叩く動作で、マウスのクリックと同じ操作です。タイルをタップしてアプリを起動するときなどに行います。

●スワイプ



「スワイプ」は、タッチパネル上をなぞる動作です。画面をスクロールするときなどに行います。マウスの「ドラッグ」にあたる操作も行えます。

●ダブルタップ



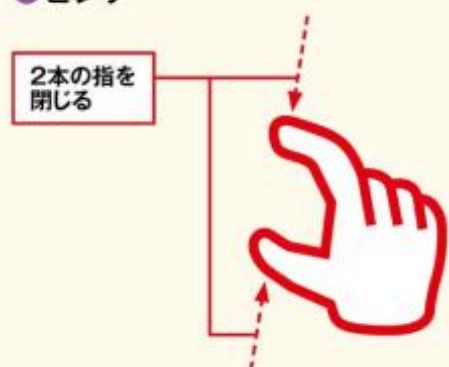
「ダブルタップ」は、タッチパネルを軽く2回連続して叩く動作で、マウスのダブルクリックにあたります。

●長押し



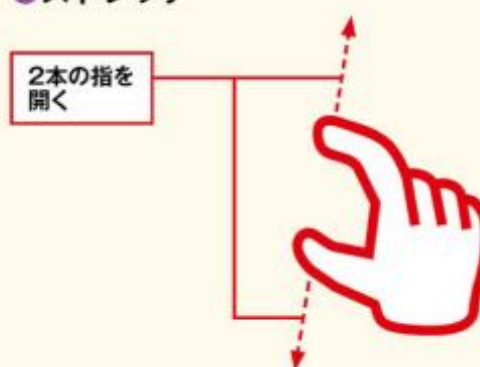
「長押し」は、タッチパネルを約1秒以上押し続ける動作です。マウスでの右クリックにあたる操作です。

●ピンチ



「ピンチ」は、2本の指で画面をタッチし、互いの指の距離を縮める動作です。「ピンチイン」とも呼ばれ、表示を縮小するときなどに行います。

●ストレッチ



「ストレッチ」は、2本の指で画面をタッチし、互いの指の距離を拡げる動作です。「ピンチアウト」とも呼ばれ、表示を拡大するときなどに行います。

Windowsの 準備3

キーボードの基本を 押さえよう

メールを書くにも、仕事の書類を作るにも文字入力には欠かせません。ここで文字入力の基本をおさらいしましょう。Windowsでは、ひらがなを入力する「ひらがな」モードと、英数字を入力する「半角英数」モードの2つのモード

を使い分けて文字を入力します。そして入力したひらがなを漢字やカタカナに変換して文章を作っていきます。

なおここでは、アルファベットの組み合わせでかなを入力する「ローマ字入力」での操作方法を説明しています。

ひらがなの入力

ひらがなを入力するには、日本語入力がオンの状態でアルファベットを順に押して、最後に[Enter]キーで確定します。

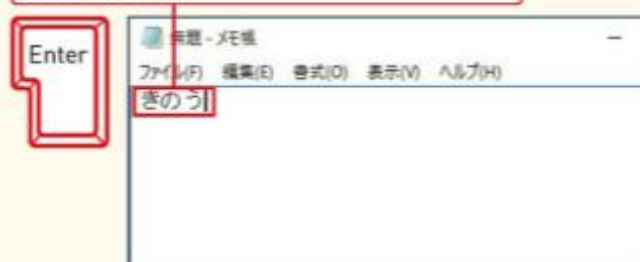
① ひらがなを入力するときは[半角/全角]キーを押します。通知領域のアイコンが「あ」になると、ひらがなモードです。



② [K] [I] [N] [O] [U]のキーを順に押すと、「きのう」と入力されます



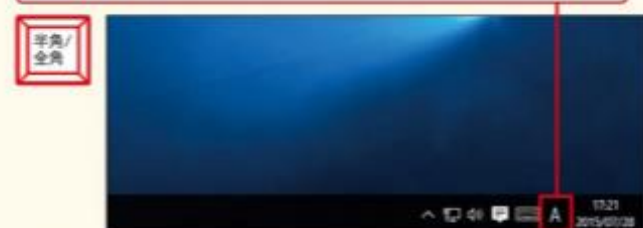
③ [Enter]キーを押すと、下線が消え、文字の入力を確定します



英数字・記号の入力

半角の英数字を入力するには、[半角/全角]キーを押して日本語入力をオフにします。

① 英数字を入力するときは、[半角/全角]キーを押します。通知領域のアイコンが「A」になると、半角英数モードです。



Point!

② キーボードの文字キーを押すと、押したキーの文字がそのまま入力されます



Point! [Shift]キーを押しながらアルファベットのキーを押すと、大文字のアルファベットを入力できます。

③ [Shift]キーを押しながら[1]キーを押すと、「!」が入力されます



文字を変換する

漢字交じりの文字を作成するときは、いったん「ひらがな」モードで入力してからスペースキーを押し、ひらがなを漢字に変換します。

① 変換したい文字を入力したら、スペースキーを押して変換します

Space



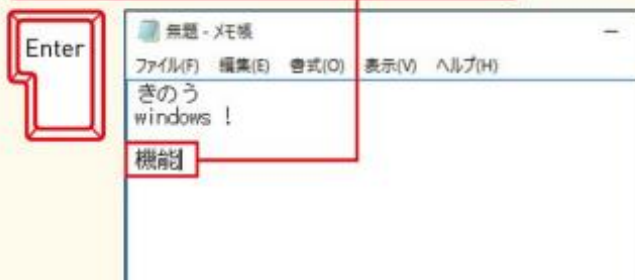
② 目的の漢字に変換されなかった場合は、再度スペースキーを押し、目的の候補を選択します

Space



③ [Enter] キーを押すと、変換を確定し、漢字に変換された文字が入力されます

Enter



カタカナを入力したいときは

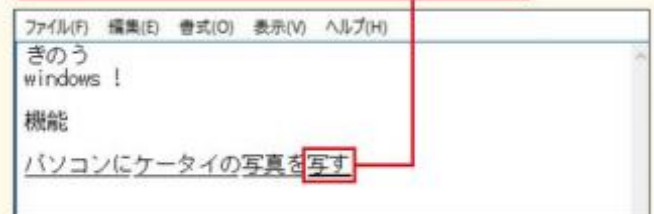
カタカナを入力するときは、[無変換] キーを押し、入力モードを「全角カタカナ」に切り替えます。また文字の入力中に [無変換] キーを押すと、入力中の文字が全角カタカナに変換されます。

長文を変換する

長文を変換するときは、文節の操作が重要です。間違った候補に変換されている文節に移動したり、文節の区切り位置を調整したりすることで、正確な文章を入力します。

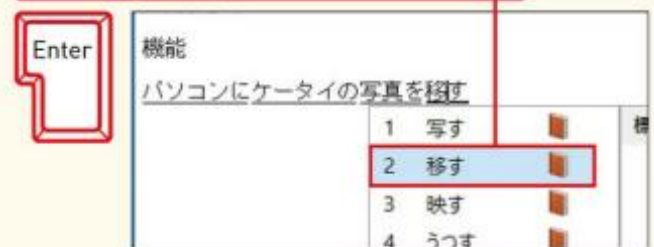
● 文節ごとに変換する

① 「うつす」の漢字が間違っています。[→] キーを押して、変換対象の文節(太い下線)を「写す」に移動します



② スペースキーを押し、正しい漢字を選択したら、[Enter] キーを押して変換を確定します

Enter



● 文節の区切りを変える

① 意図せぬ場所で文節が区切られてしまった場合は、区切り位置を調節する文節を選択します

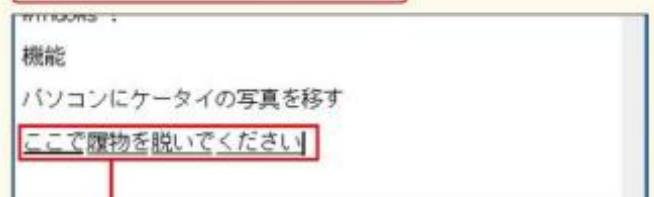


② [Shift] キーを押しながら、[←] キー(もしくは[→] キー)を押します

Shift



③ 文節の区切り位置が修正されました



④ 再度スペースキーを押すと、修正した区切り位置で文章が変換し直されます

Windowsの 準備4

インターネットへ 接続しよう

インターネットに接続するには、LAN ケーブルでルーターとパソコンを接続する方法と、無線 LAN (Wi-Fi) で接続する方法があります。いずれも、プロバイダーや回線事業者との契約が必要になりますが、無線 LAN の

場合は、駅やカフェなどの公共の無線 LAN を使用し、契約なしで接続することも可能です。細かな設定方法は、プロバイダーや回線事業者ごとに異なることがあります。配布されたマニュアルも参考に、設定しましょう。

LAN ケーブルでつなぐ場合

LAN ケーブルで接続する場合、ルーターとパソコンを LAN ケーブルでつなぐだけでインターネットに接続することができます。

① インターネットに接続するのに必要な機器をそろえます

ルーター

※写真は
バッファロー
[WHR-600D]



インターネットへ接続するための機器です。

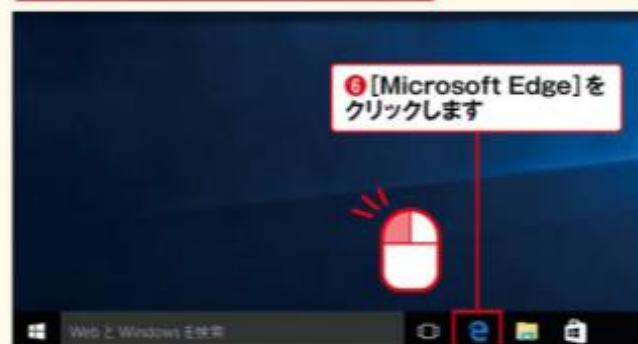
LANケーブル



ルーターとパソコンをつなぐケーブルです。



⑤ ルーターをパソコンの電源を入れます



Point!

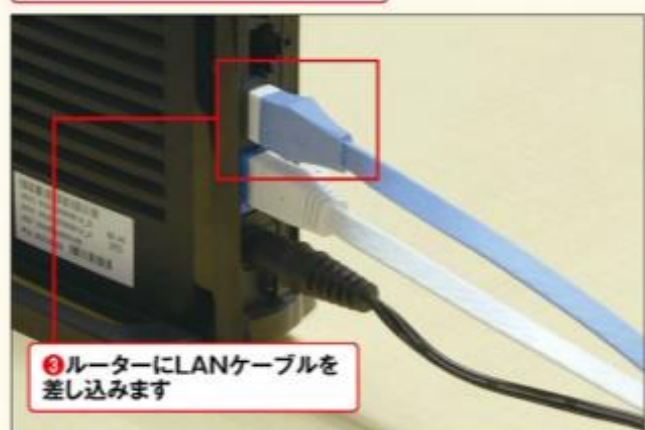
⑦ インターネットに接続できるか確認します



Point!

インターネットに接続できなかった場合は、プロバイダーや回線事業者の指定する必要な設定事項を確認します。

② ルーターは電源を切っておきます



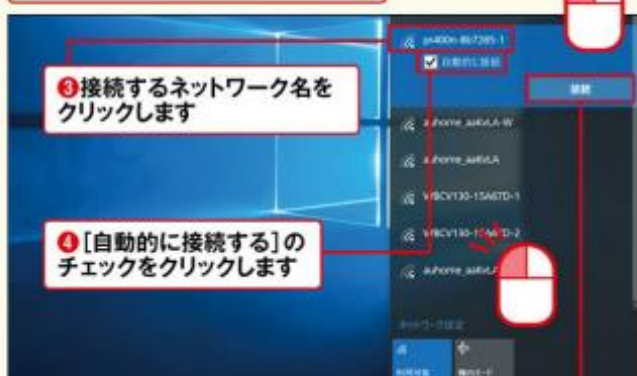
Wi-Fi で接続する場合

Wi-Fi で接続する場合は、あらかじめ無線 LAN を使用可能な状態にし、パソコンの無線 LAN 機能をオンにしてから、Wi-Fi に接続するためのパスワードを入力します。ネットワーク名 (SSID) やセキュリティキー (パスワード) は、Wi-Fi の機器に貼られたシールや機器に同梱されている書類に記載されています。

① [ネットワーク] をクリックします



② 利用可能なネットワークの一覧が表示されます



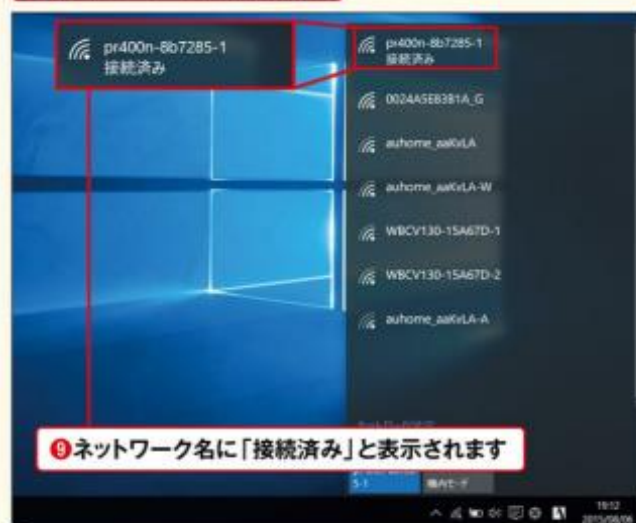
⑤ [接続] をクリックします

⑥ ネットワークのセキュリティキーを入力します



⑦ [次へ] をクリックします

⑧ ネットワーク一覧に戻ります



⑨ ネットワーク名に「接続済み」と表示されます

Check セキュリティキーがわからないときは？

Wi-Fi のネットワークに接続するには、ネットワークのセキュリティキーが必要です。セキュリティキーがわからないときは、自宅であればネットワークを設定した人に、お店やホテルであればサービスの提供者に確認してみましょう。なお、自宅のルーターが初期設定のままであれば、ルーター背面のシールにセキュリティキーが記されていることもあります。どうしてもパスワードが思い出せないときは確認してみましょう。



Check [機内モード] って何？

[機内モード] とは、Wi-Fi や Bluetooth などすべての無線機能を一時的にオフにするモードです。クリックするたびにオンとオフをすばやく切り替えられます。飛行機など無線機器を使えない場所で利用します。

Windowsの 準備5

Microsoft アカウントで ログインしよう

Windows 10 では、インターネット上でデータを管理するクラウド機能が強化されました。その機能を利用するのに欠かせないのが、「Microsoft アカウント」です。Microsoft アカウントを取得することで、連絡先を管

理する「People」(P.56) やメールサービスの「Outlook.com」(P.60)、クラウドにファイルを保存する「OneDrive」(P.84) といった各種クラウドサービスを利用できます。Microsoft アカウントは簡単に作成できます。

Microsoft アカウントを使用するサービス

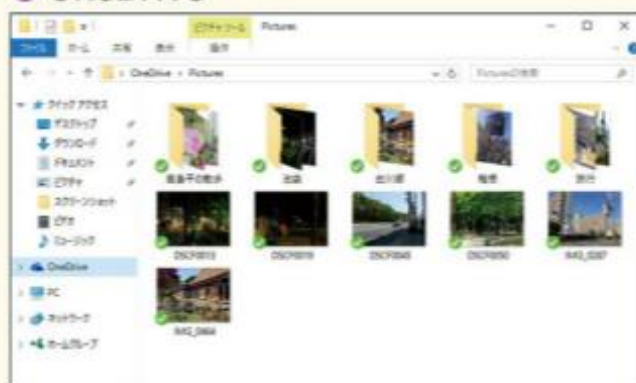
Windows 10 の代表的なクラウドアプリが以下の2つです。本誌では、Microsoft アカウントを取得・設定していることを前提に解説を進めています。アカウントの種類の確認と Microsoft アカウントの取得・設定は P.15 で紹介しています。

●メール



「メール」アプリでは、Microsoft アカウントとして取得したメールアドレスがそのまま使えます (P.50 参照)。

●OneDrive



オンラインストレージ「OneDrive」はエクスプローラーと統合。保存したファイルをほかの人と共有できます (P.84 参照)。



クラウドサービスって何？

インターネット経由で提供されるさまざまなサービスのことを「クラウドサービス」あるいは単に「クラウド」(雲の意味)と呼びます。クラウドでは、インターネット上のサーバーにデータを保管するため、自宅と会社など、別のパソコンから同じデータを利用できます。Microsoft アカウントを有効にすることで利用できるサービスも、クラウドの一種です。



クラウドなら、同じ Microsoft アカウントでログインすれば同じデータを利用できます。

アカウントの状態を確認する

Windows を使用するには「アカウント」が必要になります。アカウントには、インターネットと連携するアプリやサービスが利用できるような「Microsoft アカウント」と、一部の機能が制限される「ローカルアカウント」の 2 種類があります。本誌では「Microsoft アカウント」を使った手順を紹介していきます。まずは、現在のアカウントの状況を確認してみましょう。ローカルアカウントであっても、Microsoft アカウントを作成し、現在のローカルアカウントに関連付けられます（下記「Microsoft アカウントを作成する」を参照）。



● Microsoft アカウントの場合

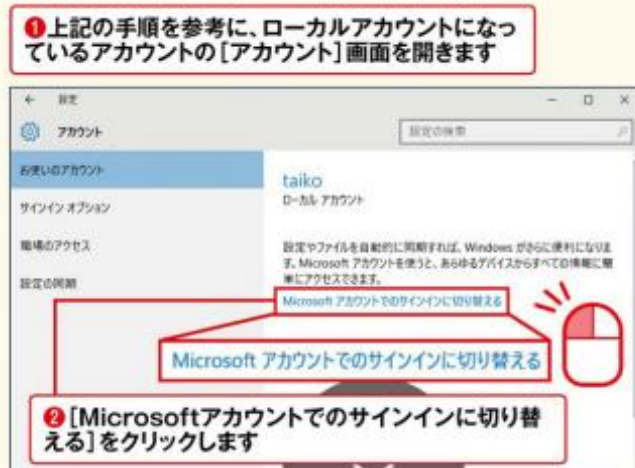


● ローカルアカウントの場合



Microsoft アカウントを作成する

上記の手順でアカウントがローカルアカウントだった場合、Microsoft アカウントを新しく作成して関連付けておきましょう。次ページの ⑤ の画面で既存のメールアドレスを Microsoft アカウントとして設定することも可能です。



④ 姓名を入力します

アカウントを作成しましょう

Windows, Office, Outlook.com, OneDrive, Skype, Xbox, Microsoft アカウントでサインインすると、すべてさらに個人向けにカスタマイズされたものになります。* [詳細情報](#)

姓 名

✓ taiko.suzuki.ex@outlook.jp は使用できます。

@outlook.jp

代わりに自分のメールアドレスを使用

日本

*既に Microsoft サービスを使用している場合は、元に戻ってそのアカウントを使用してサインインします。

次へ 戻る

⑤ 希望するメールアドレスを入力します

⑥ 新しいパスワードを入力し、[国/地域]を設定して[次へ]をクリックします

⑦ パスワードを忘れてしまった場合に使用する携帯電話の番号を入力します

セキュリティ情報の追加

セキュリティ情報によってアカウントが保護されます。セキュリティ情報は、パスワードの回復、アカウントのハッキング被害の防止、ブロック時のアカウントの復元などに使われます。スパムには使われません。

日本 (+81)

代わりに別のメールを追加

次へ 戻る

⑧ [次へ]をクリックします

最も関連の高いものを表示

基本設定の使用やデータの学習によって Microsoft がお客様のエクスペリエンスをカスタマイズする際は、検索結果、広告、お好みの対象などが表示されることを確認してください。これらの設定は、オンラインおよび一部の Microsoft 製品またはサービス内で変更できます。

☐ Microsoft Advertising に自分のアカウント情報の利用を許可して、オンライン エクスペリエンスを向上させます。(この設定はいつでも変更できます。)

☐ Microsoft からのキャンペーン プランを受け取る。(いつでも登録を解除できます)

次へ 戻る

⑨ [次へ]をクリックします

⑩ ローカルアカウントのパスワードを入力します

最後にもう一度現在のパスワードを入力してください

これからは、今設定したパスワードまたは PIN を使用してこのデバイスのロックを解除します。

ローカル パスワードの使用を終了する前に、もう一度ローカル パスワードを入力する必要があります。

(なければ空白のままにする)

*既に Microsoft サービスを使用している場合は、元に戻ってそのアカウントを使用してサインインします。

次へ 戻る

⑪ [次へ]をクリックします

⑫ [パスワードは時代遅れです]が表示されたら、[この手順をスキップする]をクリックします

パスワードは時代遅れです

PIN はパスワードを使用するよりも速くて安全です。ぜひご利用ください。

PIN が長いパスワードよりも安全なのはなぜですか?

この手順をスキップする

PIN の設定

⑬ [アカウント]画面に切り替わり、メールアドレスが表示されます

アカウント

お新しいアカウント

サインイン オプション

現在のパスワード

設定は同期

鈴木 平子

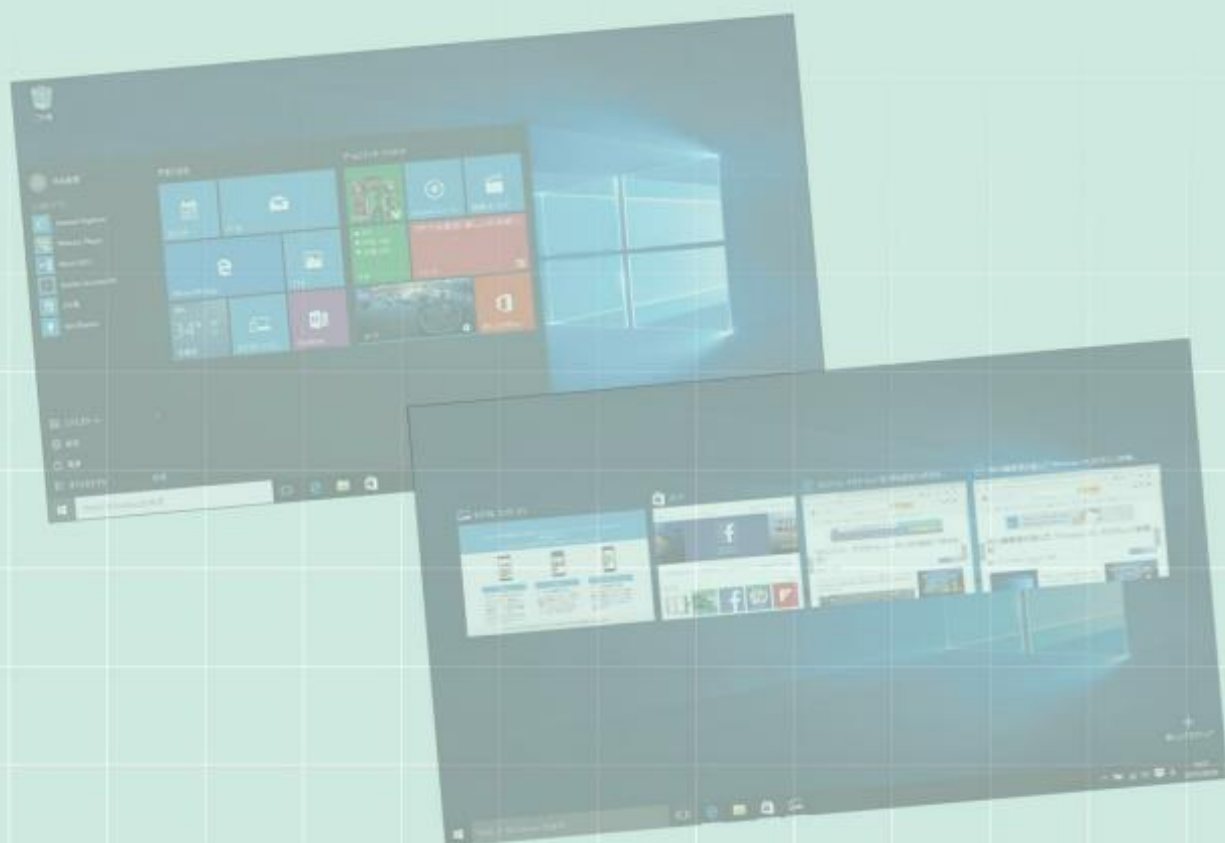
taiko.suzuki.ex@outlook.jp

自分の画像

Microsoft アカウントを作成して関連付けられました

第 1 章

ウィンドウズ10の 基本を知ろう



ウィンドウズ 10 の 基本を知ろう

Windows 10 では、Windows 8.1 や 8 でなくなっていたスタートメニューが復活し、アプリの起動やパソコンのシャットダウンなどの操作がスタートメニューから実行できるようになりました。そのほか、さまざまな通知がアク

ションセンターで 1 箇所にまとめられ、必要な設定をアクションセンターの項目をクリックするだけでできるようになるなど、とてもシンプルでわかりやすく進化しています。

● デスクトップとスタートメニューの画面



① デスクトップ	パソコンを起動したときに初めに表示される画面です。アプリのウィンドウやショートカットを配置します。	⑦ タスクバー	起動中のアプリのアイコンが表示される場所です。クリックするとそのアプリに切り替わります。
② ウィンドウ	アプリを起動すると、このようにデスクトップ上にウィンドウが表示されます。	⑧ スタートボタン	スタートメニューを表示するためのボタンです。
③ スタートメニュー	アプリを起動したり、電源のオン/オフをしたりするためのメニューです。	⑨ 検索ボックス	パソコン内のファイルを検索したり、インターネットを検索したりできます。
④ アカウントメニュー	ログイン中のユーザー名が表示されます。	⑩ タスクビューボタン	クリックすると起動中のアプリを一覧表示するタスクビューに画面を切り替えます (P.25 参照)。
⑤ よく使うアプリ	よく使うアプリが表示されます。	⑪ 通知領域	音量やネットワークを設定したり、アクションセンターを表示したりできます。
⑥ タイル	スタートメニューに表示されているアプリのショートカットのことです。		

4つのステップ

Step 1

スタートメニューの 使い方を知ろう

→ 20
ページ



Windows 10 の目玉機能である、復活したスタートメニューの基本的な使い方を解説します。パソコンにインストールされているすべてのアプリを表示したり、タイルをカスタマイズしたりしてみましょう。

Step 2

アプリを起動・終了してみよう

→ 22
ページ



スタートメニューの基本的な使い方をマスターしたら、今度はアプリを起動してみましょう。Windows 10 にはさまざまなアプリがあります。ここでは3通りの起動の仕方と、アプリを終了する手順を紹介しています。

Step 3

ウィンドウ操作とタスクビュー の使い方を覚えよう

→ 24
ページ



効率的に複数のアプリを操作できるよう、ウィンドウの操作方法を覚えましょう。ウィンドウの操作がWindowsの基本となります。アプリを切り替えるときは、Windows 10 の新機能「タスクビュー」が便利です。

Step 4

通知の確認方法と 基本の設定方法を覚えよう

→ 26
ページ



Windows 10 では、アクションセンターでWindowsの更新情報などの通知をまとめて確認できます。ここでは通知の確認方法と、画面の明るさや音量などを設定する手順を説明します。

Step 1

スタートメニューの 使い方を知ろう

Windows 10 では、アプリの起動やシャットダウンなどの主な操作は、スタートメニューから行います。スタートメニューは、画面左下の「スタート」ボタンをクリックすると表示され、左側には「よく使うアプリ」や「最近追加さ

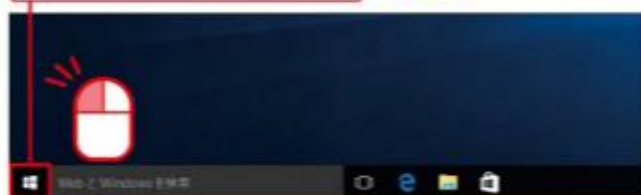
れたもの」が一覧で表示され、右側にはよく使うアプリのタイルが表示されています。タイルに表示されていないアプリは「すべてのアプリ」をクリックすると確認できます。

1 スタートメニューを表示する

デスクトップ画面の左下にあるスタートボタンをクリックすると、スタート画面が開きます。よく使うアプリや登録されたアプリはタイルで表示されます。

① デスクトップの画面左下にある「スタート」をクリックします

Point!



Point! キーボードの「Windows」キーを押すことでも、スタートメニューを表示できます。

② スタートメニューが表示されます



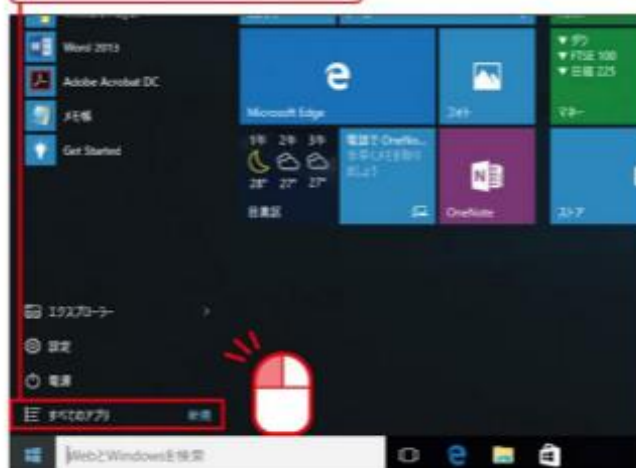
Check 【よく使う】アプリとは？

スタートメニューの左側には、「よく使うアプリ」という項目があり、使用頻度の高いアプリを自動でリストアップしてくれます。項目をクリックするとアプリが起動します。

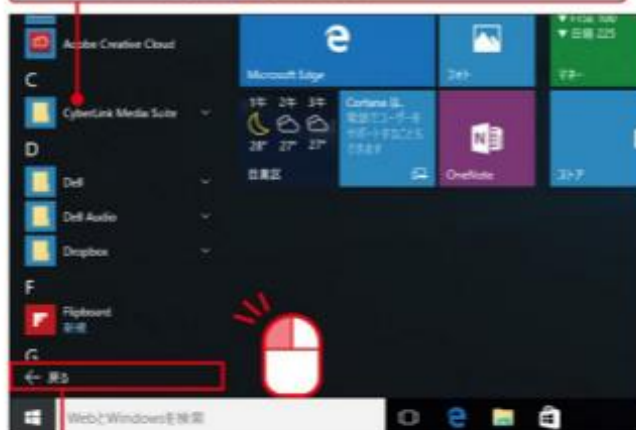
2 すべてのアプリを表示する

「すべてのアプリ」をクリックすると、パソコンにインストールされているアプリの一覧が表示されます。

① スタートメニューを表示し、「すべてのアプリ」をクリックします



② パソコンにインストールされているすべてのアプリがアルファベット・五十音順に表示されます

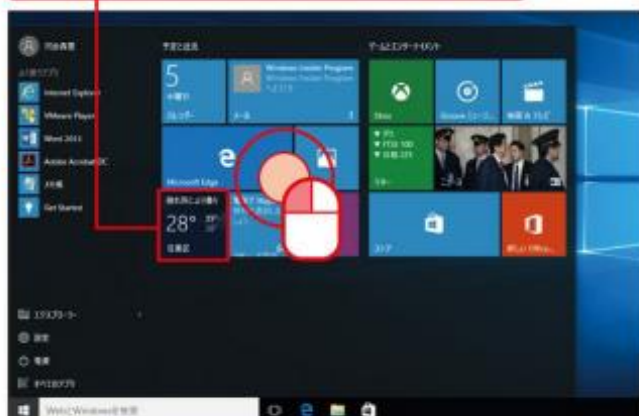


③ 「戻る」をクリックすると、①の画面に戻ります

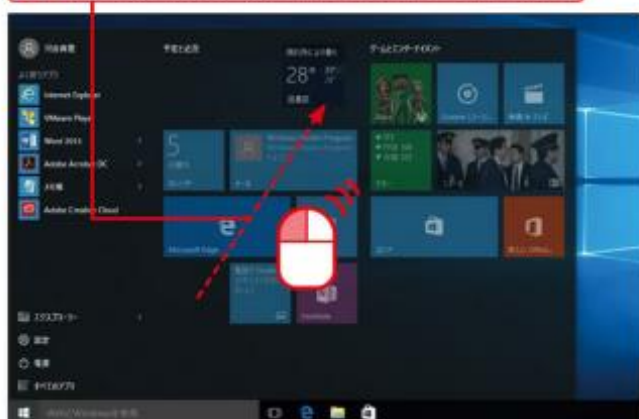
タイルを並べ替える

スタートメニューに表示されるタイルの位置は、ドラッグ&ドロップで移動できます。よく使うアプリは使いやすい位置に移動しましょう。

① スタートメニューで移動したいタイルをクリックし、そのままマウスの左ボタンを押し続けます



② タイルを移動したい場所でマウスのボタンを離します



③ マウスのボタンから指を離すと、その場所にタイルが移動します

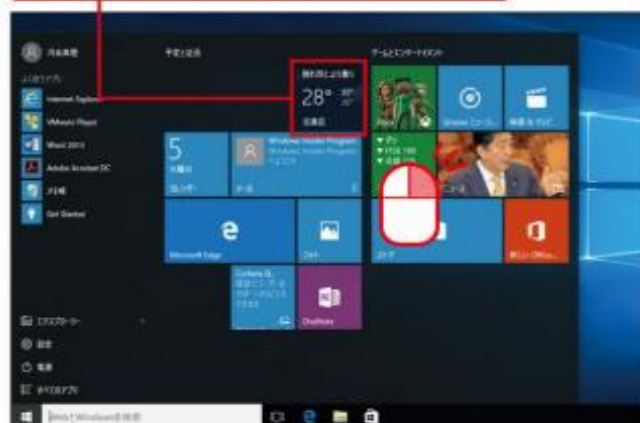


④ 移動先にタイルがある場合は、自動でタイルの位置が調整されます

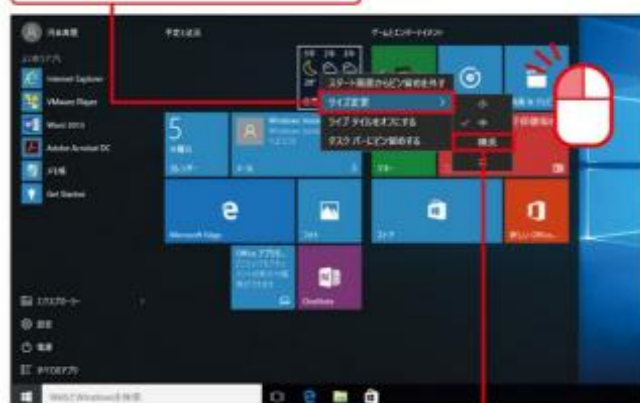
タイルのサイズを変更する

スタートメニューに表示されるタイルは、サイズ変更することができます。よく使うアプリは大きく、あまり使わないアプリは小さくというように、自分なりに整理しておくといいいでしょう。

① サイズを変更したいタイルを右クリックします



② [サイズ変更] をクリックします



③ [小] [中] [横長] [大] からサイズを選択します。ここでは[横長]をクリックします



④ タイルのサイズが「横長」に変更されてクリックしやすくなります

⑤ アプリによっては表示される内容も変わります

Step 2

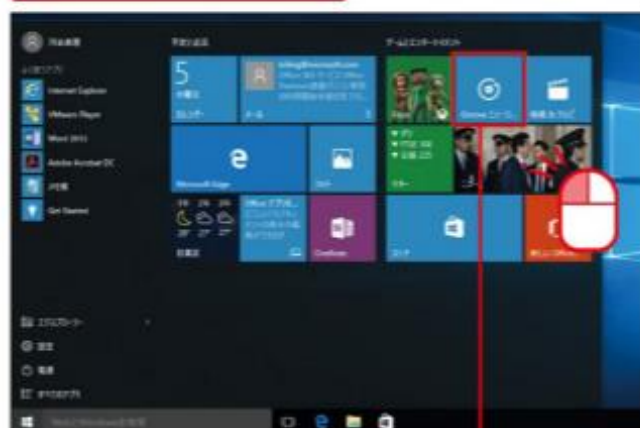
アプリを 起動・終了してみよう

Windows 10 では、アプリはスタートメニューの「すべてのアプリ」や「タイル」のほかに、タスクバーのアイコンからも起動することができます。その都度、一番やりやすい方法で操作できると作業効率も上がります。

タイルメニューから起動する

起動したいアプリがタイルで表示されている場合は、タイルをクリックするのが簡単です。タブレット端末を使っているようなときも、タッチしやすくとっても便利です。

① スタートメニューを表示します



② 起動するアプリのタイル(ここでは[Groove ミュージック])をクリックします



③ 選択したアプリ(ここでは[Groove ミュージック])が表示されます

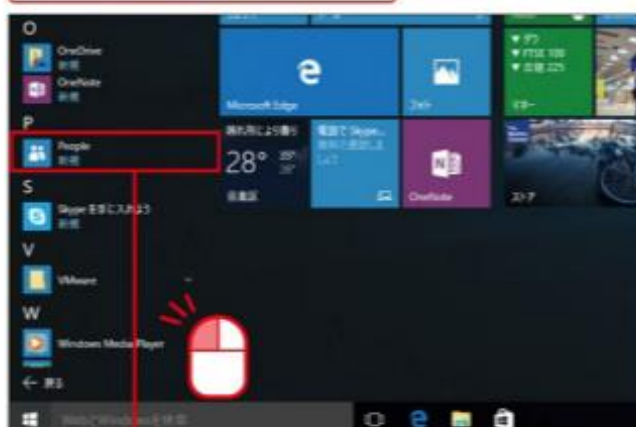


また、用事の済んだアプリはこまめに終了しておくことで、パソコンの動作が遅くなることを防げます。ここでは、スタートメニューやタスクバーからのアプリの起動、アプリの終了方法を確認していきましょう。

アプリの一覧から起動する

スタートメニュー内に起動したいアプリが見当たらないときは、「すべてのアプリ」をクリックしてリストの一覧からアプリを探して起動します。

① P.20を参考にスタートメニューで「すべてのアプリ」を表示します



② 起動するアプリの名前(ここでは[People])をクリックします



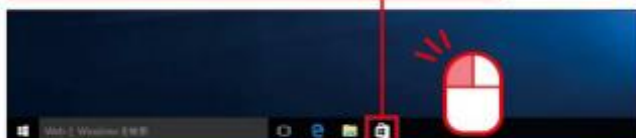
③ 選択したアプリ(ここでは[People])が表示されます



タスクバーから起動する

タスクバーに登録されているアイコンをクリックすれば、スタートメニューを表示することなく、目的のアプリをすばやく起動することができます。

①タスクバーから、起動したいアプリのアイコン(ここでは[ストア])をクリックします **Point!**



Point! 好きなアプリをタスクバーに自由に追加(ピン留め)できます。下のCheck!を参照してください。

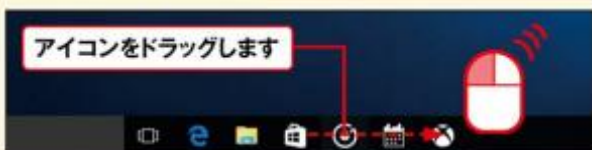
②選択したアプリが起動します



Check! タスクバーのアイコンを並べ替える

タスクバーのアイコンを並べ替えるときは、目的のアイコンをドラッグ & ドロップで移動します。

アイコンをドラッグします



Check! アイコンをタスクバーにピン留めする

よく使うアプリのアイコンをタスクバーにピン留めしたいときは、起動しているアプリのタスクバー上のアイコンを右クリックし、[タスクバーにピン留めする]をクリックします。



アプリを終了する

アプリは、ウィンドウ右上の[閉じる]をクリックするか、タスクバーのアイコンを右クリックして[ウィンドウを閉じる]をクリックして終了します。使わないアプリは、必ず終了しましょう。

●ウィンドウから終了する

①終了したいアプリのウィンドウの[閉じる]をクリックします



●タスクバーから終了する

①タスクバーの終了したいアプリのアイコンを右クリックします



②[ウィンドウを閉じる]をクリックします

Check! タスクビューから終了する

アプリは、タスクバーの[タスクビュー]をクリックすると表示されるウィンドウの[閉じる]をクリックすることでも終了できます(P.24 参照)。



Step 3

ウィンドウの操作とタスクビューの使い方を覚えよう

Windows 10 では簡単に、開いているウィンドウのサイズを自由に変更したり、複数のウィンドウの表示状態を変更したりすることができます。また、タスクビューを利用して開いているすべてのウィンドウを確認し、使わない

ウィンドウだけ閉じたり、使いたいウィンドウを前面に表示したりすることができます。ここでは、デスクトップでの基本中の基本といえるウィンドウの操作について確認しましょう。

ウィンドウのサイズを変更する

開いたアプリのウィンドウは、自分の好きなサイズに変更したり、画面いっぱいまで大きさを拡大したり、使わないウィンドウを一時的に隠したりすることができます。

① P.22を参考に[Microsoft Edge]を起動します



② マウスポインターの形が変わったらウィンドウの角をドラッグします

③ ウィンドウが任意の大きさに変更されます



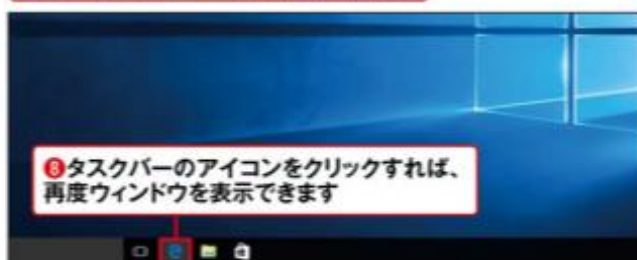
④ [最大化]をクリックします

⑤ ウィンドウが画面いっぱいに最大化されます



⑥ [最小化]をクリックします

⑦ アプリがタスクバーに最小化されます



⑧ タスクバーのアイコンをクリックすれば、再度ウィンドウを表示できます

Check 複数ウィンドウが開いている場合は

1つのアプリで複数のウィンドウを開いている場合は、タスクバーのアイコンにマウスポインターを合わせると、各ウィンドウのサムネイルが表示されます。このサムネイルをクリックすることで、ウィンドウを選択できます。



ウィンドウを切り替える

複数のウィンドウを開いているときは、一番前面に表示されたウィンドウが操作対象となります。後ろに表示されたウィンドウで操作するときには、ウィンドウをクリックして前面に表示します。

① 後ろに表示されているウィンドウをクリックします



② ウィンドウが前面に表示されます



スナップ機能を利用する

ウィンドウを画面の上下左右にドラッグすると、ウィンドウを画面の半分に表示したり、横に並べて表示したりできます。この機能のことを「スナップ」といいます。スナップ機能を使うことで簡単に画面を整理できます。



ウィンドウを画面端にドラッグすると
大きさが自動で調整されます

タスクビューを表示する

タスクビューを表示すると、現在開いているすべてのウィンドウを確認できます。必要なウィンドウを前面に表示したり、不要なウィンドウを終了させるのに役立ちます。

① タスクバーの[タスクビュー]をクリックします



② タスクビューに切り替わり、現在開いているウィンドウが一覧で表示されます



③ 前面に表示したいウィンドウをクリックします

Point!

Point! タスクビューを中断して元の画面に戻るには、ウィンドウのサムネイル以外のところをクリックします。

④ クリックしたウィンドウが前面に表示されます



Step
4通知の確認方法と
基本設定を覚えよう

Windows では、新着のメッセージなどさまざまな出来事が画面の右下に「トースト」と呼ばれる通知で小さく表示されます。しかし、通知を見逃してしまうこともあります。Windows 10 では、通知された情報を「アクションセ

ンター」で一括管理することができます。アクションセンターでは、これまでの通知を一覧で表示するだけでなく、下部にはよく使う設定メニューも表示されています。

通知をすぐに確認する

例えば、[アラーム&クロック] アプリでアラームを設定しておくと、アラームを設定した時間にサウンドとともにトースト通知が表示されます。確認したら、[解除] をクリックします。

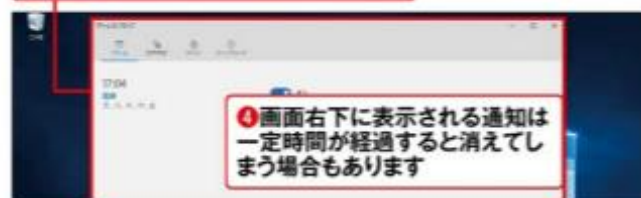
① サウンドが鳴り、アラームの内容がトーストで表示されます



② トースト通知をクリックします

Point! トースト通知下部の [再通知] や [解除] をクリックすると、アラームを解除したり、スヌーズを設定したりできます。

③ 通知にかかわる画面が表示されます



④ 画面右下に表示される通知は一定時間が経過すると消えてしまう場合もあります



Check どんないことが通知されるの？

トースト通知やアクションセンターでは、新しくメッセージが届いたり、パソコンの更新が必要になったりした場合にメッセージが表示されます。ほかのアプリを操作しているときでもすぐに気付けるので便利です。

アクションセンターで確認する

通知領域の [新しい通知] をクリックすると、アクションセンターが開きます。アクションセンターでは、システムやアプリからの通知の確認や設定画面の起動ができます。

① 通知領域の [新しい通知] をクリックします



② デスクトップの右側にアクションセンターが表示されます



③ 詳細を確認したい通知をクリックします

④ ここではパソコンにデバイスを接続したため、デバイスに対する操作を選択する画面が表示されます



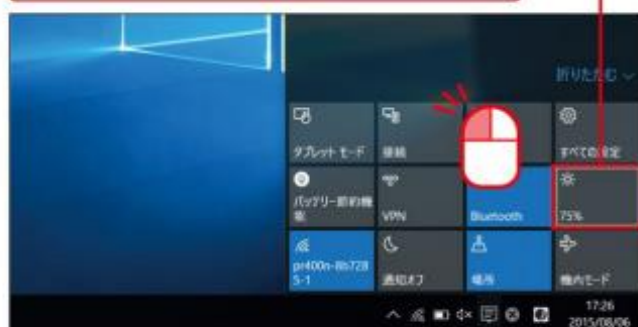
画面の明るさを設定する

ノートブックやタブレットのパソコンでは、アクションセンターのメニューをクリックすることで、25%ずつ明るさを変更することができます。さらに詳細に設定したい場合は、メニューを右クリックして「設定を開く」をクリックします。

① アクションセンターの「画面の明るさ」をクリックします



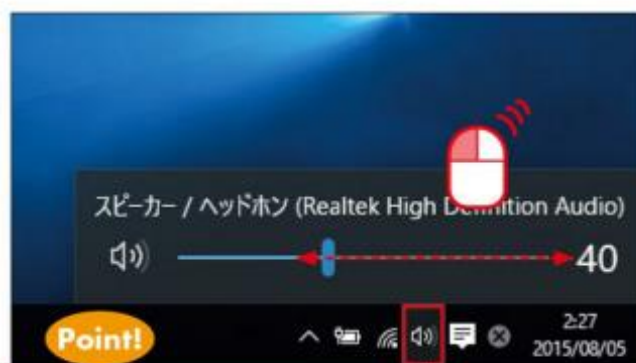
② 画面の明るさが変わります。アイコンをクリックすることで明るさが25%ずつ上がります



音量を調整する

スピーカーの音量は、通知領域の「スピーカー」をクリックして調整します。スピーカーを消音にしたり、つまみをドラッグして好きな音量に設定することができます。

① 通知領域の「スピーカー」をクリックします



② スピーカーメニューが表示されるので、つまみをドラッグして、音量を調整します

Point! スピーカーメニューの「M」をクリックすると、音量をミュート（消音）に設定できます。

Check アクションセンターのメニュー

アクションセンターの下部には、ノートにメモを記録したり、画面の回転のオン／オフを切り替えたりするためのメニューが用意されています。タブレットタイプのパソコンを使用する場合は、ここでタブレットモードをオンにすることもできます（P.87 参照）。



Check 「バッテリー節約機能」とは？

ノートパソコンやタブレットで表示される「バッテリー節約機能」とは、バックグラウンドでの動作やプッシュ通知を制限することで、バッテリーの寿命を延ばす機能です。充電中はオフになり、バッテリー残量が20%未満になると自動的にオンになります。



Windows の起動と終了を覚えよう

Windows 8.1とは操作方法が変わった Windows 10 ですが、パソコンの起動方法はこれまでと変わりません。電源を入れ、Windows が起動したらサインイン（ログイン）

画面でパスワードを入力します。一方、パソコンの終了の手順は大きく変わりました。Windows 10 では、スタートメニューの「電源」から終了の操作を行います。

1 Windows を起動する

パソコンの電源を入れたら、ロック画面が表示され、クリックすると Windows へのサインイン画面が表示されます。パスワードを入力することで、Windows にサインインできます。

① 電源を入れてしばらくするとロック画面が表示されます



② マウスのボタンをクリックするか、キーボードのいずれかのキーを押します

③ 初期設定で設定したパスワードを入力します

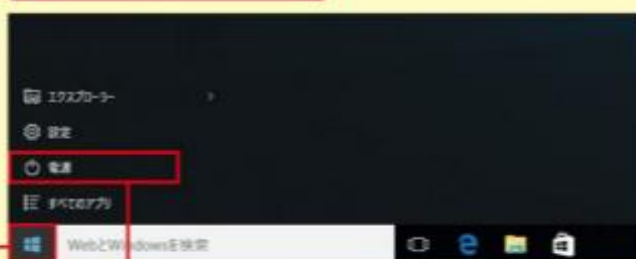


④ [->] をクリックするか、[Enter] キーを押します

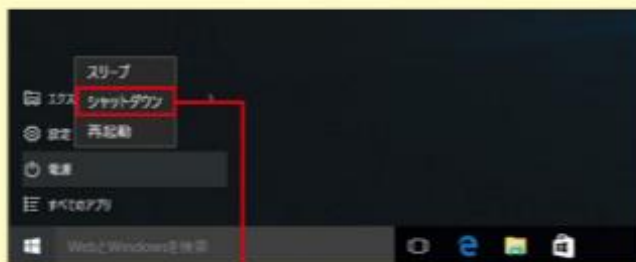
2 Windows を終了する

Windows を終了するには、スタートメニューを表示し、「電源」メニューをクリックします。パソコンの再起動やスリープもこのメニューから行います。

① 「スタート」をクリックします



② 「電源」をクリックします



③ 「シャットダウン」をクリックします



「スリープ」と「シャットダウン」の違いは？

スリープは、省電力で待機している状態です。離席するなど、一時的に作業を中断したい場合などに使います。画面は真っ暗になりますが、再開したいときにマウスをクリックするかいずれかのキーを押すと、すばやくコンピューターを通常の電力状態の動作に戻せます。シャットダウンは、作業を終了し、完全に電源を落とすときに選択します。